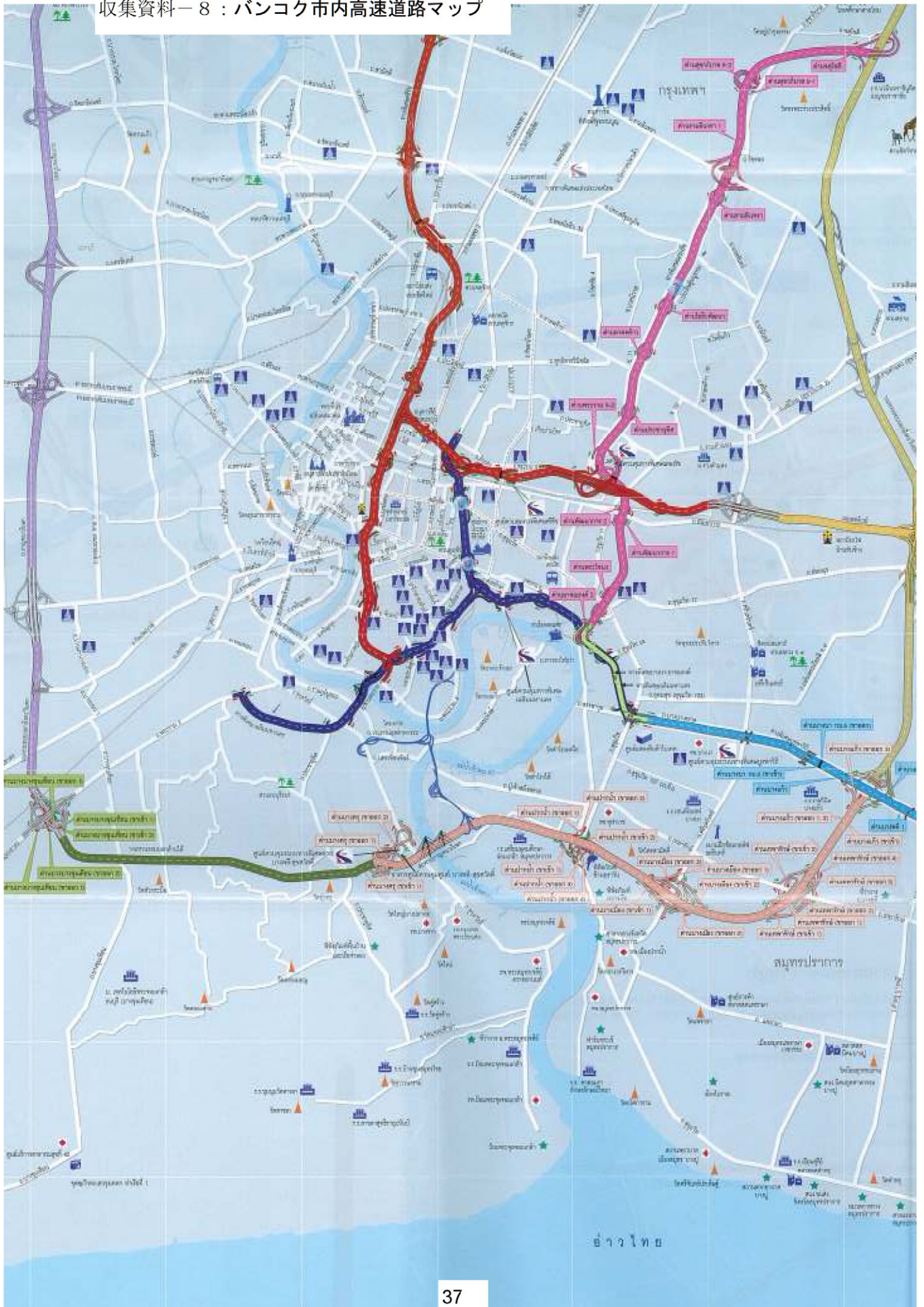
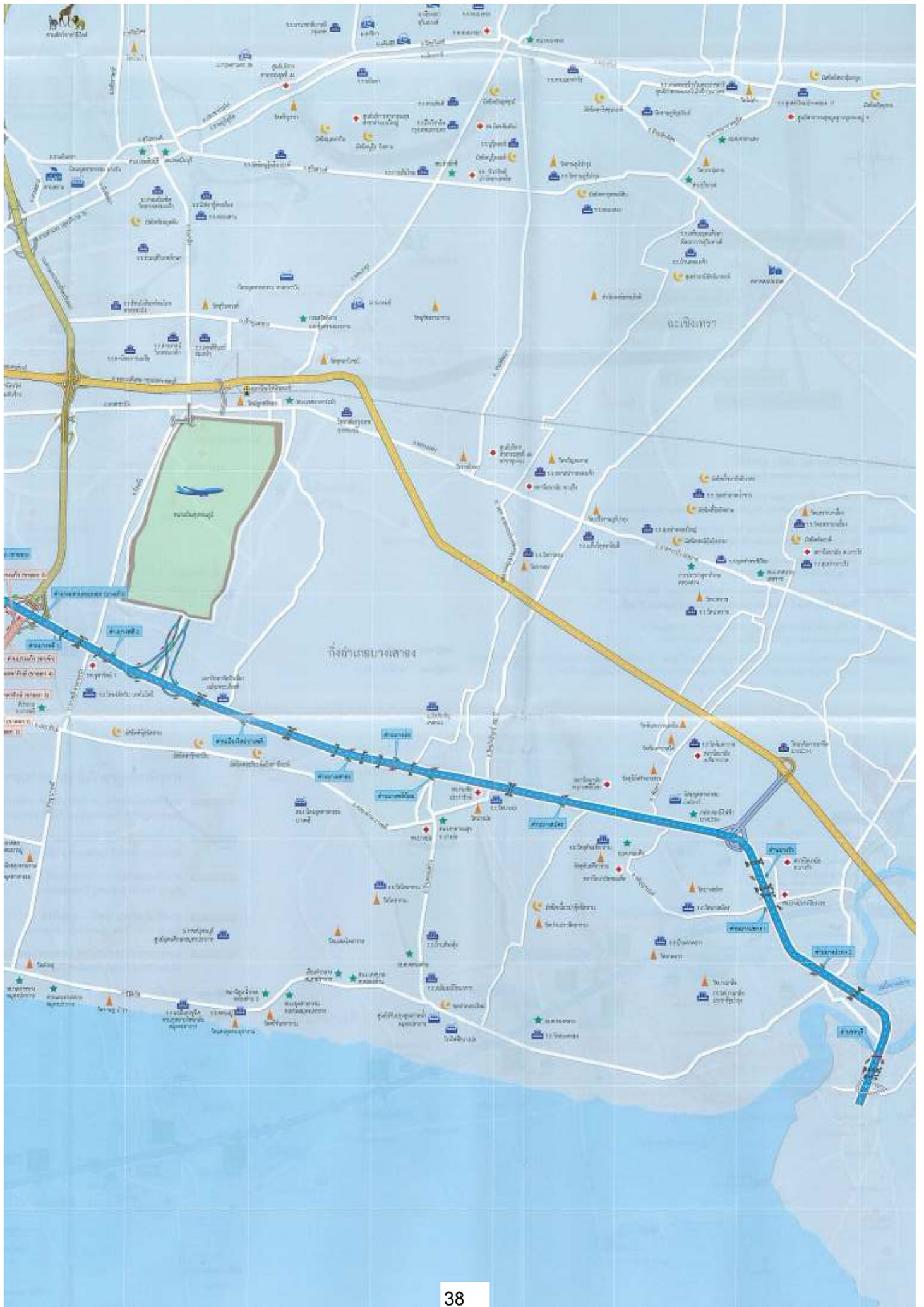
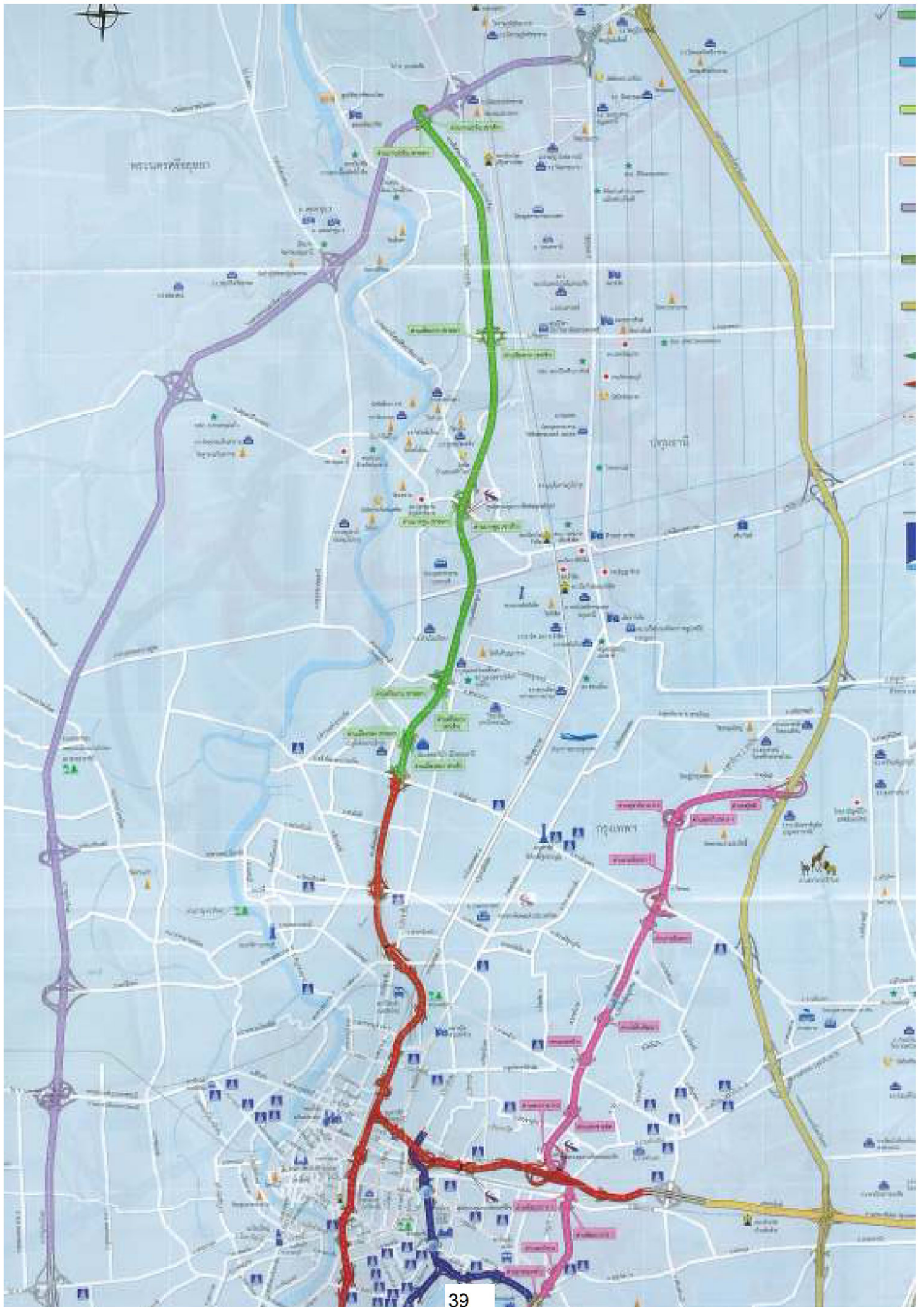


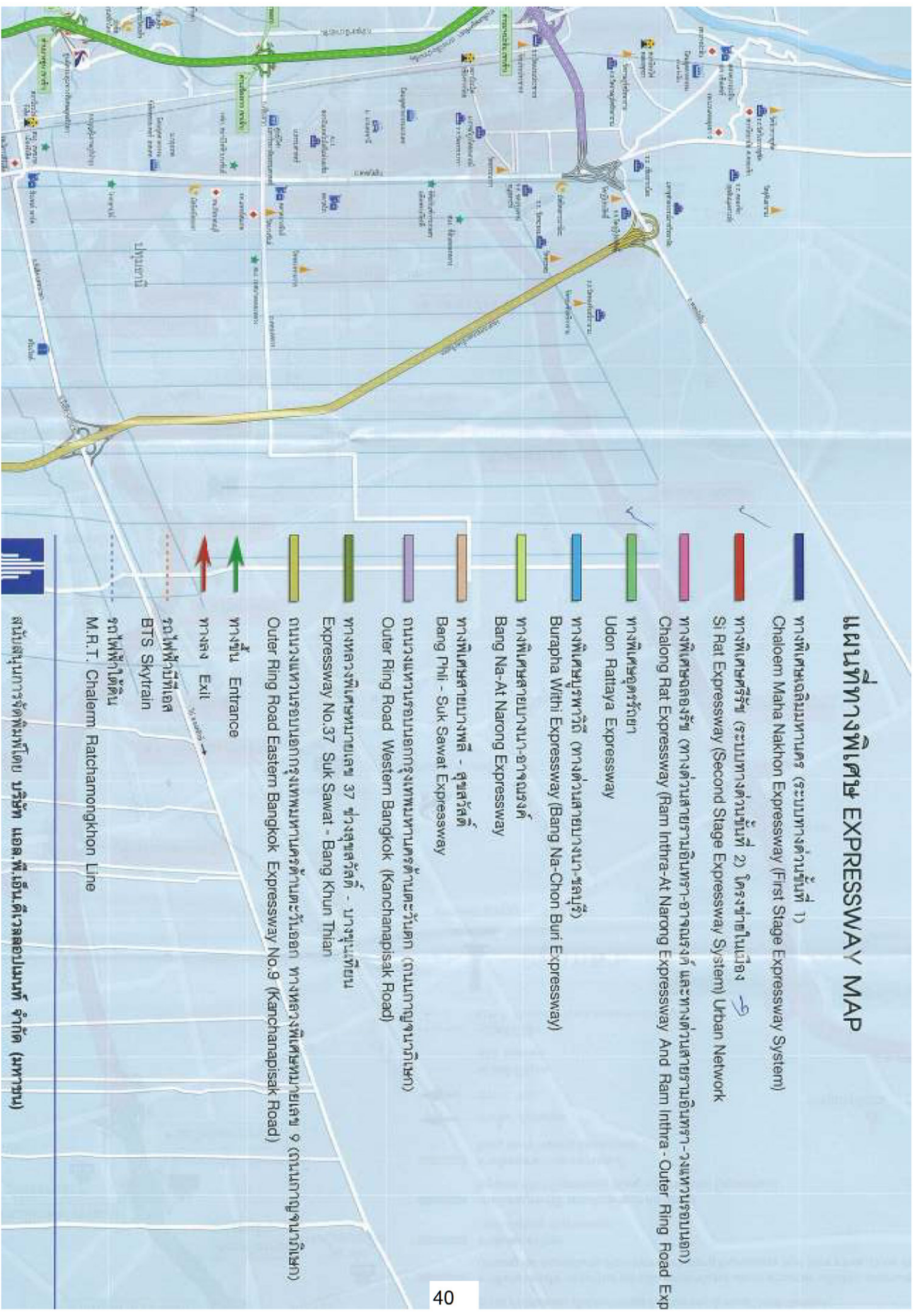
収集資料－ 8 : バンコク市内高速道路マップ







แผนที่ทางพิเศษ EXPRESSWAY MAP



- █ ทางพิเศษเฉลิมมหานคร (ระบบทางด่วนขั้นที่ 1)
Chaoem Maha Nakhon Expressway (First Stage Expressway System)
- █ ทางพิเศษศรีรัช (ระบบทางด่วนขั้นที่ 2) โครงการในอนาคต →
Si Rat Expressway (Second Stage Expressway System) Urban Network
- █ ทางพิเศษฉลองรัช (ทางด่วนสายรามอินทรา-อาจณรงค์ และทางด่วนสายรามอินทรา-วงแหวนรอบนอก)
Chalong Rat Expressway (Ram Inthra-At Narong Expressway And Ram Inthra - Outer Ring Road Exp
- █ ทางพิเศษอุดรรัถยา
Udon Rattaya Expressway
- █ ทางพิเศษบูรพาวิถี (ทางด่วนสายบางนา-ชลบุรี)
Burapha Withi Expressway (Bang Na-Chon Buri Expressway)
- █ ทางพิเศษสายบางนา-อาจณรงค์
Bang Na-At Narong Expressway
- █ ทางพิเศษสายบางพลี - สุขสวัสดิ์
Bang Phli - Suk Sawat Expressway
- █ ถนนวงแหวนรอบนอกกรุงเทพมหานครตะวันตก (ถนนกาญจนาภิเษก)
Outer Ring Road Western Bangkok (Kanchanapisak Road)
- █ ทางพิเศษหมายเลข 37 ช่วงสุขสวัสดิ์ - บางขุนเทียน
Expressway No.37 Suk Sawat - Bang Khun Thian
- █ ถนนวงแหวนรอบนอกกรุงเทพมหานครตะวันออก ทางพิเศษหมายเลข 9 (ถนนกาญจนาภิเษก)
Outer Ring Road Eastern Bangkok Expressway No.9 (Kanchanapisak Road)
- ทางขึ้น Entrance
- ทางลง Exit
- รถไฟฟ้าบีทีเอส
BTS Skytrain
- รถไฟฟ้าใต้ดิน
M.R.T. Chalem Ratchamongkhon Line

สนับสนุนการจัดพิมพ์โดย บริษัท แอล.พี.เอ็น.ดีเวลอปเมนท์ จำกัด (มหาชน)



タイの概況とアセアン経済

1. タイ一般情報	1
2. タイ経済・政治情勢	5
3. タイ洪水の被害・対応	25
4. タイへの投資状況・環境	31
5. アセアン経済概況	44
6. アセアン経済共同体	57

ジェトロバンコク事務所

2013年11月

Ver. 46

Copyright © 2013 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

- 1.タイ一般情報
- 2.タイ経済・政治情勢
- 3.タイ洪水の被害・対応
- 4.タイへの投資状況・環境
- 5.アセアン経済概況
- 6.アセアン経済共同体

1. タイの一般情報①

タイの一般情報

人口	6,598万人(人口センサス:2010年9月時点)、アセアンの中でインドネシア、フィリピン、ベトナムに次いで4番目 * 6,446万人(タイ内務省:2012年12月末時点、登録者ベース)
首都	バンコク(同上、830万人、構成比12.8%) * 同上 567万人、構成比8.8%
民族	大多数がタイ族、その他華僑、マレー族、山岳少数民族等
言語	タイ語
宗教	仏教95%、イスラム教4%
政体	立憲君主制
元首	プミポン・アドゥンヤデート国王(ラーマ9世王) (1946年6月即位)
議会	下院 500名(選挙区375名、比例区125名) 上院 150名(公選76名、任命74名)
通貨	バーツ(13年8月末 1ドル=32.02バーツ、1バーツ=3.1円)

(出所:日本国外務省、タイ内務省、タイ中央銀行)



Copyright © 2013 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

1. タイの一般情報②

【歴史】

国名「タイ王国」は、それまでの「シャム(サイアム Siam)」に代わり1949年に制定された。「タイ」とは「自由」を意味する。

▼スコータイ王朝(1238-1438年)

- ・タイ族が長い年月をかけ中国東南部より南下。
- ・ラムカムヘーン王の頃に国力増強(ラオスからシンガポール近辺まで領土拡大、タイ文字の制定、上座部仏教を国教に)。

▼アユタヤ王朝(1351-1767年)

- ・16世紀中頃からビルマ(ミャンマー)と戦い一時は属領に。
- ・日本と朱印船貿易で修好が始まる。
- ・ビルマによって滅亡。

▼トンブリー王朝(1767-1782年)

- ・将軍タクシンが挙兵、ビルマ軍を追放。
- ・クーデターで滅亡。

▼チャクリー王朝(1782-現在)

- ・チュラロンコーン大王(ラーマ5世)は中央集権化と近代化を実施。軍制改革、奴隷制度廃止など近代国家としての基礎を作り、絶対君主制を確立。
- ・1932年、欧州留学で民主思想を学んだ一部軍人によるクーデター、絶対君主制から立憲君主制へと移行。
- ・現プミポン国王は貧困、福祉、災害復旧など様々な面での貢献により国民から絶大な尊敬を集めている。

タイの国旗



1917年にラーマ6世によって制定された。中央の青は国王(王室)を、その上下の白は宗教(仏教)の潔白を、外側の赤は国王(王室)と宗教(仏教)を守るタイ国民の団結心を表している。

【タイ経済の構造】

- ①国土面積は51.4万km²(日本の約1.4倍)
 - ASEAN域内ではインドネシア、マレーシアに次ぎ第3位
- ②名目GDP: 3,189億ドル(10年)、3,457億ドル(11年)
 - 日本の約5.9%
 - ASEAN域内ではインドネシアに次ぎ第2位
 - 世界では第30位(インドネシア16位、マレーシア36位)
- ③1人当たりGDP: 4,992ドル(10年)、5,395ドル(11年)
 - 日本の約11.8%
 - ASEAN域内ではシンガポール、ブルネイ、マレーシアに次ぎ第4位
 - 世界では91位(シンガポール12位、ブルネイ23位、マレーシア65位)
 - 2012年は5,678ドルに達する見通し
- ④GDP構成比: 製造業約34%、商業約13%、農業約13%
 - (農業就業人口は約4割)
 - 自動車関連と電気・電子が工業の2本柱
- ⑤高い外需依存(GDPに占める輸出額割合は約70%)とFTAの効果的な利用

【タイ社会の構造】

- 大多数の仏教徒(小乗(上座)仏教)、僧侶・仏像は畏敬の対象
- 敬愛を集める現国王、王室への不敬は厳禁
- 華僑/華人の影響が濃い社会
- 親日的(70年代には一時日本製品排斥も)
- マイペンライでサバライ(深慮しなく陽気)な国柄・人柄
- 南部にイスラム過激派、頻繁なテロ活動

Copyright © 2013 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

1. タイの一般情報③

【教育】

○**教育制度** 日本と同様、6-3-3-4制を導入。初等教育及び前期中等教育が義務教育である。近年、中等教育、高等教育の在学率が上昇しており、特に高等教育の在学率が高いことが特徴

タイにおける在学率の推移 (％)

区分	2002年	2011年
就学前教育(幼稚園)	69.9	76.8
初等教育(初等学校)	104.8	103.5
前期中等教育(中学校)	82.2	98.4
後期中等教育(高等学校)	59.8	72.2
高等教育(大学等)	43.8	47.2

(注) 在学率は、各教育段階における在学者数を該当年齢人口で除したもの(出所)タイ国経済概況(2012/2013年版)より抜粋

○**高等教育** 大学としては、一般的な大学のほかに、地域総合大学(地域の人材育成ニーズにこたえるために設立)、工科専門大学(高度な技術の修得・研究を行うことを目的)などがある。

- ・一般的な大学 101校(国立30校(公開大学2校含む)、私立71校)【例】チュラロンコン大学、タマサート大学、マヒドン大学など
- ・地域総合大学 40校
- ・工業専門大学 9校 (注) 学校数は2011年時点

【医療/メディカルツーリズム】

○主な病院: **バムルンラード、サミティヴェート、バンコク、BNH、プララーム9**など。日本語可のタイ人医師、日本語通訳や日本人スタッフ(受付やコーディネーター)。総じて医療サービスや医療設備の水準は高いとされる。

○中東、アフリカ、アメリカなどからの集客を狙い、**メディカルツーリズム**に注力。高度な医療・検査体制と魅力的な観光地が武器。2008年には約140万人の外国人が利用、700億B(約1,900億円)の収入。うち200億Bが病院診療報酬、500億Bが観光収入で観光収入全体の約10%に相当(出所: ネーション紙)。

Copyright © 2013 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

【タイ滞在と労働】

○滞在許可(ノンイミグランドビザ)とワークパーミット(WP)
- WP(原則資本金200万Bで1人、10名限度、BOIなど例外あり)

○日系社会のサポート体制

- **バンコク日本人商工会議所**(JCCB、約1,500社加盟)
- **タイ国日本人会**(約7,600人、タイ国在留届出邦人は約5.0万人)
- 県人会や大学同窓会
- 多くの**日本語フリーペーパー**(経済、飲食などの情報満載)

○住宅事情

- 駐在員は**スクンビット、プルンテット/テットロム、シーロム/サートン**などに居住。特に**BTSプロンボン、トンロー周辺**が多い。
- メイドを雇うかサービスアパートに滞在するパターンが多い。
- 最近では**シラチャ**地区へ転居する例も(日本人学校も新設)。

【日本食材の調達/日本食飲食店の進出】

○**伊勢丹、フジスーパー、エンポリウム、サイアムパラゴン、セントラル、イオン、トップスマーケット、ヴィラマーケット**などで日本の食材調達が容易かつ比較的安価に可能。

○日本食飲食店の進出が続く。(例)**大戸屋、モスバーガー、ペッパラーランチ、池袋ばんから、Coco壱番屋、新宿さぼてん、ピアードパパ、丸亀製麺、大阪王将**など。

○タイ資本のタイ人向け日本食店も大賑わい(やよい軒、ZEN、FUJI、Oishi)~日本食ブームの火付け役

日本食レストランの推移

	バンコク	地方	合計
2007年3月	555	190	745
2008年2月	625	215	840
2009年3月	729	355	1084
2010年2月	913	394	1307
2012年6月	1128	548	1676

出所: JETROバンコク事務所



4

1. タイ一般情報
2. タイ経済・政治情勢
3. タイ洪水の被害・対応
4. タイへの投資状況・環境
5. アセアン経済概況
6. アセアン経済共同体

2-1. 2013年に入り、経済成長のテンポが減速

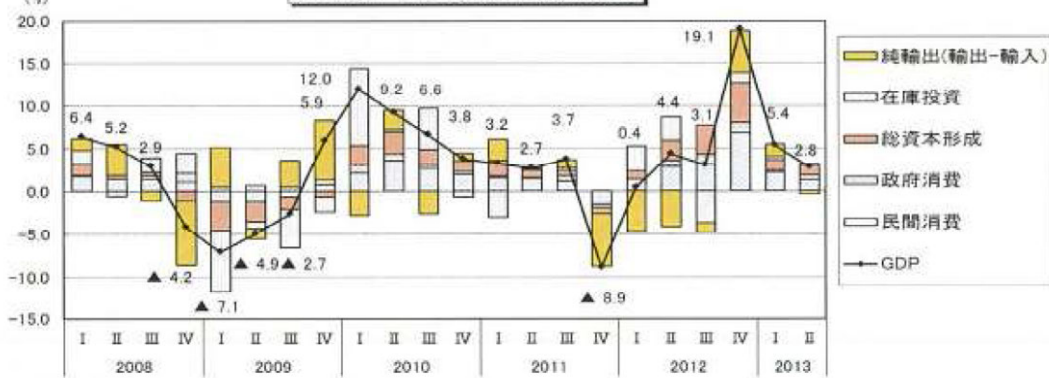
JETRO Bangkok

- 2012年は、洪水後の消費や投資の増加などにより6.5%増となった。
- 2013年第2四半期は前年同期比2.8%増、季調済前期比0.3%減。前年同期比で比較すると、民間消費が初回自動車購入の際の物品税還付策の終了などの影響で消費者が慎重になり減速、また総資本形成は政府部門の設備投資が好調であったが、建設部門が大幅に減速した。純輸出(輸出-輸入)は農林水産物の不調や海外経済の弱い回復などから製造業の輸出が低調だったため、マイナス成長となった。

タイGDP成長率の推移

1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12/1Q	2Q	3Q	4Q	13/1Q	2Q	
▲10.5	4.4	4.8	2.2	5.3	7.1	6.3	4.6	5.1	4.9	2.5	▲2.3	7.8	0.1	6.5	0.4	4.4	3.1	19.1	5.4	2.8	
															(季節調整済前期比)	11.3	2.4	1.9	2.7	▲1.7	▲0.3

GDP成長率(需要項目別寄与度)の推移



(出所)タイ国家経済社会開発庁(NESDB)

Copyright © 2013 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

6

2-2. 生産(洪水の反動の効果は減少し、足元は弱含みで推移)

JETRO Bangkok

- 工業生産指数は足元、自動車生産が通常水準へ戻る一方、エビの早死症候群流行の影響で水産加工業が減産し弱含みで推移
- 自動車製造台数は、2012年は過去最高245万台を達成(世界第9位、初のトップ10入り)。2011年洪水影響による待機及び復興需要、内需刺激策(税還付、最低賃金引上げ)等がプラス要因となったが、足元はファーストカーバイヤー税還付制度の終了の影響で減少傾向。

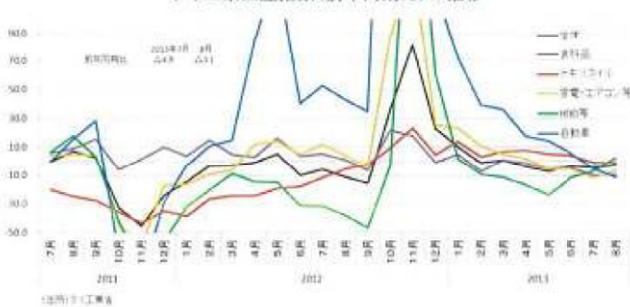
生産関連指標

	2010	2011	2012	2013.4	5	6	7	8
工業生産指数(前年比%)	14.4	▲9.1	2.2	▲3.9	▲7.5	▲3.2	▲4.9	▲2.8
設備稼働率(%)	63.8	58.7	65.4	60.4	66.9	64.9	64.5	63.5
うち輸送機器稼働率(%)	75.5	62.9	99.7	85.0	113.4	104.5	95.3	90.8
自動車製造台数(千台)	1645.3	1457.8	2440.0	170.4	231.0	217.0	201.0	195.0
(前年同期比%)	64.6	▲11.4	67.4	17.4	13.9	4.0	▲6.0	▲8.2
自動車輸出台数(千台)	895.9	735.6	1027.0	67.6	87.0	96.0	83.0	103.0
(前年同期比%)	67.3	▲17.9	40.3	22.0	0.7	1.5	▲14.0	▲18.0

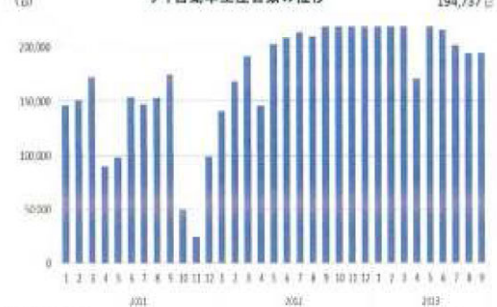
(出所)タイ中央銀行、タイ工業連盟



タイ工業生産指数(前年同期比)の推移



タイ自動車生産台数の推移



Copyright © 2013 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

7

「国の運輸分野インフラ開発のための借り入れ権限を財務省に付与する法律」

2013年3月19日に同法案を閣議承認し、国会に提出した。同法案は、通常予算とは別枠で2兆パーツ(約6.8兆円)相当の内貨又は外貨を2020年末までの7年間に亘りインフラ整備に必要な借り入れを行う権限を政府に付与するもの。

【目標】

- ・ モーダルシフト(高コストの道路輸送から、鉄道、水運などへのシフトを推進)
- ・ 連結性向上(メコン地域やアセアンへの連結性を向上させるためのインフラを整備)
- ・ モビリティ向上(輸送ファシリティを改善しモビリティの向上を図る)

返済

- ・ 法律施行後10年目まで: ⇒ 利払いのみ
- ・ 11年目から20年目まで: ⇒ 元本を1%ずつ
- ・ 21年目から30年目まで: ⇒ 元本を2%ずつ
- ・ 31年目から40年目まで: ⇒ 元本を3%ずつ
- ・ 31年目以降: ⇒ 4%ずつ、償還。

【2兆パーツインフラプロジェクトのタイプ】

単位:100万パーツ

インフラのタイプ	予算額
1. モーダルシフト	354,560.75
1.1 鉄道システムの改善	308,337.85
1.2 水運	29,819.50
1.3 マルチモーダル	16,403.38
2. 連結性向上	1,042,376.74
2.1 国境ゲートウェイの開発	47,945.84
2.2 地方ネットワーク	994,430.90
3. モビリティの向上	593,801.52
3.1 都市における運輸開発	472,448.12
3.2 国内主要経済地域間の運輸開発	121,353.40
4. 本計画のプロモーション活動等	9,261.01
	2,000,000.02

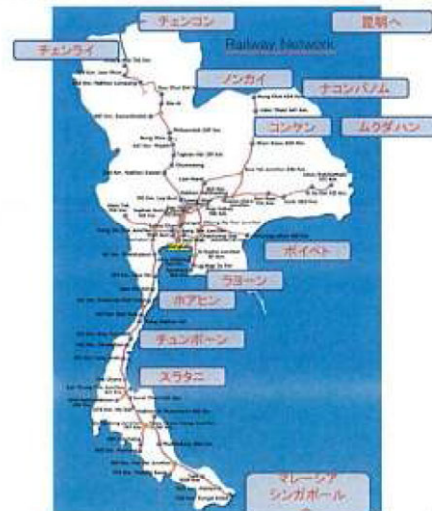
【期待される成果】

- ・ ロジスティクスコストの対GDP比(15.2%)の2ポイント以上の低下
- ・ 県間の自家用車による移動比率を59%から40%への低下
- ・ 貨物列車の平均速度を39km/hから60km/hに、旅客列車の平均速度を60km/hから100km/hに向上
- ・ 貨物輸送における鉄道のシェアを2.5%から5%に向上
- ・ 貨物輸送における水運のシェアを12%から18%に向上
- ・ エネルギーロスを年間33億パーツ(112億円)以上削減
- ・ 大量輸送システムのシェアを5%から30%に向上
- ・ 国境貿易の規模を5%以上拡大
- ・ 鉄道旅客輸送件数を年間4500万件から7500万件に拡大
- ・ 高速鉄道によりバンコクから300km圏内への移動時間を180分から90分に短縮

※参考:タイの予算規模は2兆5,000億パーツ

【モーダルシフト】 3,545億6,075万パーツ

1.1 鉄道システムの改善	308,337.85	1.2 水運	29,819.50
1) ロップリ-バクナンボ間の複線化	16,215.10	(1) チュンボン港の建設	1,713.26
2) バクナンボ-デンチャイ間の複線化(285 kms)	30,070.00	(2) ソンクラレ港第二期の建設	3,613.87
3) Mab Kabao - ジラロード間の複線化	21,196.07	(3) 省エネルギーのためのアントーン 河川口の建設	1,325.61
4) ジラロード-コンケン間の複線化	29,221.28	(4) バクバラ港第一期の建設	11,786.76
5) コンケン-ノンカイ間の複線化(174 kms)	18,585.00	(5) バサック河川水運の改善	11,380.00
6) ジラウボンラチャタニ間の複線化(309 kms)	32,560.00	1.3 マルチモーダル	16,403.38
7) Nakhonprathom-Nong Pla Duk-ホアヒン 間の複線化	20,833.43	(1) 効率性向上のためのトラックターミナル(15ヶ所)	11,856.88
8) ホアヒン-プラチュアアップキリカーン間の複線化(90 kms)	9,555.00	(2) Baan Pha Chi-ナコンルアン間の複線化	4,546.50
9) プラチュアアップキリカーン-チュンボン間の複線化	17,683.82		
10) チュンボン-スラタニ間の複線化(167 kms)	17,640.00		
11) スラタニ-バダンバザール間の複線化(339 kms)	35,700.00		
12) レール、枕木、橋梁等の改善	15,224.84		
(12.1) 軌道の強化	406.5		
(12.2) 橋梁の強化	11,388.32		
(12.3) 鉄道沿いのフェンスの修繕	3,430.02		
13) 防壁の修繕	4,368.26		
14) 信号の改善	7,281.40		
15) 全国規模での通信システムの導入	2,152.40		
16) ケンコイ機関車工場の建設	1,000.00		
17) フライオーバーの設置(83ヶ所)	23,280.00		
18) 事故防止のための橋梁・トンネルの建設(25ヶ所)	5,771.25		



タイ・インフラマップ

2013年3月

ジェトロ・バンコク事務所


目次


I. はじめに.....	1
II. 主要インフラプロジェクトの概要	
1. 道路・橋梁.....	7
2. 鉄道.....	16
3. 港湾.....	32
4. 空港.....	36
5. 電力.....	39
6. その他.....	48
III. 現地インフラ関連企業リスト	
1. 発注機関.....	59
2. コンサルタント.....	75
3. コントラクター.....	83
IV. プロジェクト地図	


つ
様

Ⅲ. 現地インフラ関連機関・企業リスト

1. 発注機関

1. 発注機関名	運輸省国道局・Department of Highways (DOH) 
2. 政府／公社区分、事業分野	政府：国道
3. 会社 WEB	http://www.doh.go.th
4. プロフィール	
4-1. 設立年	2004 年
4-2. 予算	534.9 億バーツ (2013 年度)
4-3. 局長名	Mr. Wanchai Parkluck, Director general
4-4. 直近の売上、利益	—
4-5. 沿革	2004 年行政組織法により設置。 27 事務所 (中央 12、地方 15)、8 局からなる。 近隣国と接続する高速道路 (高規格道路、国道等) 整備を使命とし、その方針の決定、開発プラン・建設監理および維持管理を行う。 さらに、全国に効率的かつ安全な高速道路を整備することで国家の経済発展ならびに政治安定を目的とする。 具体的方策としては、道路に関する分析調査、開発モデル、標準規格設定、人材育成、新規技術の導入、道路に関する資産管理などである。
5. 主要プロジェクト	過去のプロジェクト 1. 第一タイーラオス友好橋 (ノンカイーピエンチャン) 2. バンコク外環自動車道 (部分完成) 3. スワンナブーム空港アクセス道路 4. タイーミャンマー友好橋 (メーサイータチレク) 進行中のプロジェクト 1. モーターウェイ 2. メコン架橋 (チェンコンーファイサイ)

1. 発注機関名	運輸省地方道路局・Department of Rural Roads (DRR) 
2. 政府／公社区分、事業分野	政府：道路
3. 会社WEB	http://www.drr.go.th/
4. プロフィール	
4-1. 設立年	2002年10月9日
4-2. 予算	332.3億バーツ (2013年度)
4-3. 局長名	Mr. Chartchai Tipsunave, Director general
4-4. 直近の売上、利益	—
4-5. 沿革	<p>地方道路局は、公共事業省傘下の道路・橋梁関係の関連省庁統廃合により、国民への快適・快速・安全な高速道路網拡張を提供するため2002年10月9日設立された。</p> <p>以下の業務を主管とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方道路に関する Highway Acts および関連法規の遵守 2. 地方道路の調査・開発研究実施 3. 地方道路の規格および仕様を規定し、建設にあたってはこれを遵守すること 4. 道路建設に関するトレーニングや技術マニュアル、アドバイスを他の機関に提供すること 5. 国内外の道路プロジェクトに関して国内外の諸機関と協働すること 6. 運輸省あるいは政府の定める業務の遂行
5. 主要プロジェクト	<p>過去のプロジェクト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ラマ4世橋 2. ワットナコンイン橋 3. タイーラオス第二友好橋 (ムクダハン-サバンナケット) <p>進行中のプロジェクト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ノンタブリ架橋

1. 発注機関名	高速鉄道公社、Mass Rapid Transit Authority of Thailand (MRTA) 
2. 政府／公社区分、事業分野	公社：鉄道
3. 会社 WEB	http://www.mrta.co.th
4. プロフィール	
4-1. 設立年	2000年12月1日
4-2. 予算	8,929.17 million Baht (Budget 2013)
4-3. 局長名	Mr. Yongsit Rojsriikul, Governor
4-4. 直近の売上、利益	収入 5.5 億バーツ、純損失 121.0 億バーツ (2011 年)
4-5. 沿革	<p>大バンコク圏の交通渋滞に対し、政府は 1971 年よりドイツ政府からの専門家派遣支援により調査およびマスタープランを作成し、大量高速輸送交通システムを計画した。しかし、規模の大きさ、多額の投資、さらには、政治の混乱により 1992 年まで延期された。アナンド首相は、バンコク圏における大量高速輸送システム建設を推進し、1992 年 7 月 28 日、MRT を首相府のもとに設置。MRT は、公社として大量高速輸送システム建設を任務とした。</p> <p>タイ初の地下鉄、ブルーラインは、1997 年建設開始、2004 年 7 月 3 日に開業。その後、MRT の役割が建設のみにとどまらず運営サービスに拡大するに伴い、2000 年に MRTA と改名された。</p> <p>ブルーラインおよび BTS スカイトレインの総延長は 42 キロ。バンコク都の大量輸送機関としては不十分である。このため、OTP の提案により 2004 年 2 月 23 日、総延長 291 キロまでの延伸を決定した。このうち 91 キロを MRTA が担うこととなった。</p>
5. 主要プロジェクト	過去のプロジェクト 1. ブルーライン (ホアランポンーバンスー) 進行中のプロジェクト 1. ブルーライン延伸 (バンスーターブラ) 2. ブルーライン延伸 (ホアランポンーパンケー) 3. オレンジライン (パンカピーバンブンル) 4. パープルライン (パンヤイーラートブラナ)



สำนักงานคณะกรรมการการอาชีวศึกษา

THE OFFICE OF THE VOCATIONAL EDUCATION COMMISSION



อาชีว: สร้างชาติ

สำนักงานคณะกรรมการการอาชีวศึกษา



Management of Vocational Education in the Colleges

OfBce of the Vocational Education Commission supervised 416 institutions all over the country for producing and developing professional manpower of the vocational certificate, diploma in technical education and Bachelor's degree in various fields of technology and operation. There are 9 programs comprising more than 350 subject areas. The Management Centers have been established in 5 regions to promote academic work and develop vocational education in 77 provinces. The management of vocational education colleges at provincial level is linked together. Types of colleges can be found as follows:

Numbers of institutions

1. 113	Technical Colleges	8. 10	Technology and Management Colleges
2. 141	Industrial and Community Colleges	9. 43	Agricultural and Technological Colleges
3. 3	Business Administration and Tourism Colleges	10. 1	Royal Goldsmith College
4. 5	Commercial Colleges	11. 3	Industrial and Ship Building Technological Colleges
5. 2	Arts and Crafts Colleges	12. 4	Fishery Colleges
6. 52	Polytechnic Colleges	13. 19* + 4*	Vocational Education Institutions
7. 39	Vocational Colleges		

* Nineteen institutions have been established comprising of 161 vocational and technical Colleges from 19 province clusters. There are 10 institutions under Central vocational education institutes 1; 7 under Central vocational education institutes 2; 10 under Central vocational education institutes 3; 9 under Central vocational education institutes 4; 11 under Southern vocational education institutes 1; 7 under Southern vocational education institutes 2; 9 under Southern vocational education institutes 3; 9 under Eastern vocational education institute; 10 under North eastern vocational education institutes 1; 4 under North eastern vocational education institutes 2; 9 under North eastern vocational education institutes 3; 7 under North eastern vocational education institutes 4; 9 under North eastern vocational education institutes 5; 7 under North vocational education institutes 1; 9 under North vocational education institutes 2; 8 under North vocational education institutes 3; 6 under North vocational education institutes 4; and 13 under Bangkok vocational education institutes.

* Four agricultural institutions have been established in each region comprising 41 regional institutions: 4 in the North, 10 in the Central region, 10 in the Northeast, and 12 in the South.

Types of Courses

1. Industry	6. Fishery
2. Commerce/Business Administration	7. Tourism and Hospitality
3. Arts	8. Textile
4. Home Economics	9. Information and Communication Technology
5. Agriculture	

Courses offered for Bachelor's degree in technology or operation fields

1. Industry	5. Arts
2. Information and Communication Technology	6. Home Economics
3. Business Administration	7. Agriculture
4. Tourism and Hospitality	8. Fishery

Program of Education

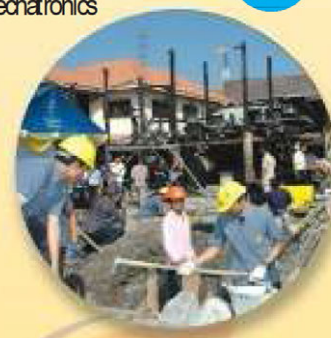
- Vocational certificate - a curriculum provided for those who graduate from an secondary school. This curriculum aims to produce and develop skills of manpower.
- Diploma Certificate - a curriculum provided for those who graduate from vocational certificate level or high school. This curriculum aims to produce and develop the professional skills of manpower.
- Higher Diploma in Technical Education equivalent to Bachelor's Degree for those who finish the diploma in vocational education. This aims to produce professional teacher.
- Bachelor's degree in Technology or Operation - a curriculum designed for those who finish the diploma in vocational education and continue the study further for 2 years.
- Career development and special training - a curriculum provided to learners of all education levels. The course take 6-225 hours while the 108 Careers curriculum takes 1-4 hours, open occasionally.



Industry Program

CertiBate in Vocational Education

1. **Mechanics**
Automotive
Industrial Mechanics
Marine Mechanics
Agricultural Mechanics
Automotive Body and Painting
2. **Machine Tools Technology**
Machine Tools
Metal Die
Plastic Mold
Auto Parts Manufacturing
3. **Welding**
Production Work
Structure Work
Bus Body Making Industry
4. **Electrical Power**
Electrical Power
5. **Electronics**
Electronics
6. **Construction**
Construction
7. **Furniture and Interior Design**
Furniture and Interior Design
8. **Architecture**
Architecture
9. **Survey**
Survey
10. **Mechanical Drawing**
Mechanical Drawing
11. **Maintenance**
Maintenance
12. **Printing**
Printing
13. **Opticianry and Lens**
Opticianry and Lens
14. **Shipbuilding**
Boatbuilding Steel Assembly
Wood and Fiberglass
Ship Architecture Boatbuilding
15. **Telecommunication**
Telecommunication
16. **Civil Construction**
Civil Construction
17. **Rubber Product Industry**
Rubber Product Industry
18. **Mechatronics**
Mechatronics



Diploma in Vocational Education

1. **Mechanics**
vehicle techniques
industrial mechanical techniques
ship mechanical techniques
agricultural mechanical techniques
merchant marine mechanical techniques
vehicle body and casting
mechanical maintenance
electricity generation
environmental technology
2. **Production techniques**
machineries
clamp tools
metal molding
plastic molding
agricultural mechanical techniques
environmental technology
3. **Metal techniques**
industrial welding techniques
metal welding techniques
industrial pipes techniques
coachwork technology industry
environmental technology
4. **Electric power**
electrical machines
electricity installation
Chilling and air conditioning
industrial measurement
Building systems technician
electricity supply and equipment
maintenance



Cleaning and maintenance of electrical and electronic machines
Industrial electricity generation technology



5. Electronics

industrial electronics
computer techniques
telecommunication system
audiovisual system

6. Construction

construction techniques
construction supervision techniques

7. Home furnishing industry and interior decoration

Home furnishing industry
interior decoration and design
interior decoration

8. Architecture techniques

architecture techniques

9. Survey

survey work

10. Mechanical drawing

production design and drawing
environmental technology

11. Industrial techniques

installation and maintenance work
production industry
rubber and plastic industry



footwear industrial technology
rice industrial technology
cassava industrial technology
logistics industrial technology
palm oil industry
vehicle production administration techniques
electricity generation operation work
environmental technology

12. Printing

Printing

13. Eye glasses and lens techniques

eye glasses and lens techniques

14. Ship building industry

ship building industry

15. Casting techniques

casting techniques

16. Telecommunication techniques

telephone system
outside plant network
information communication and network
radio communication system

17. Measurement and control

measurement and control technology
petroleum technology
gas technology
metrology
petroleum exploration technology
environmental technology



18. Civil

civil work



19. Rubber and polymer technology

rubber and polymer technology

20. Chemical industry

chemical industry

21. Petrochemicals

petrochemicals

22. Mining engineering technology

mining engineering technology

23. Mechatronics

Mechatronics

24. Computer technology

computer hardware
computer software
network and information system
multimedia computer

25. Environmental engineering techniques

environmental engineering techniques

26. Disaster relief and prevention

Disaster relief and prevention

